

みるみる！ ろいやるん！

～スパジウム ジャポン～

所沢ロイヤル病院から車で約1時間弱の東久留米市にあるスパジウムジャポンに行ってみました。スパジウムジャポンは「日本最大級名水天然温泉」と銘打ったスーパー銭湯です。

館内には露天風呂15種類と2種のサウナ、6種類の100床を超える岩盤浴、屋外テント型のサウナがあり、また身体をじっくり温めた後は屋外のハンモックや広々としたラウンジでリラックスすることができる場所が特徴です。

また、フードコートにも力を入れており、窯焼きのピザやローストビーフ井などおいしい料理に舌鼓を打つことができます。

ここでサウナと岩盤浴の違いをひとつ…

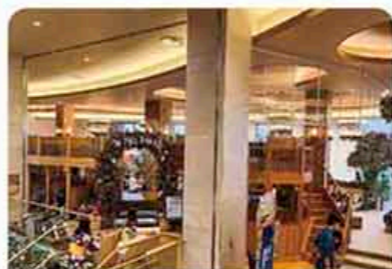
サウナ

- 熱の効果で汗腺からべたついた汗が、毛穴の汚れと一緒に排出されて肌がきれいになる。
- 自律神経のバランスがととのい疲労回復や快眠の効果を得られる。

岩盤浴

- 遠赤外線の効果で皮脂腺からさらさらとした汗が出て、体内の毒素・老廃物がデトックスされる。
- 体を内側から温めることで新陳代謝が活性化する。

手軽に非日常体験を味わえるスパジウムで身体の外も内もほっと一息。リフレッシュしてみたいはいかがでしょう。



リラックスできる広々とした館内

(文/総務課・前田)

スパジウム ジャポン 検索 東京都東久留米市上の原2-7-7

お知らせ 感染対策強化月間を継続!!

7月以降も当面の間、感染対策強化月間を継続していきます。

5月より新型コロナウイルス感染症が5類となりましたが、当院に来院の際は引き続きマスク着用等の感染対策にご協力をお願いいたします。詳しい情報はホームページ等でご確認ください。

編集後記

今年度2階病棟ではお花見が開催されました。天候にも恵まれ、きれいな桜や皆様の良い笑顔を見る事が出来ました。また、各病棟でもレクリエーションを開催するなど、入院中であっても楽しい時間ができるようにスタッフも日々奮闘しています。

また、5月より新型コロナウイルスが5類となり面会人数や回数が増えました。面会に関しては今までパーティー越しでしか会話ができませんでした。現在はご家族に連れ、近くでお話ができるようになりました。面会に来られたご家族やご本人の嬉しそうな表情は私たちにとって活力となっています。

今後も感染面に考慮しながらご家族とご本人が大切な時間を過ごせるようスタッフ一同努めていきたいと思っております。

(文/看護師・小西)



vol.71

令和5年
7月1日発行

所沢ロイヤル病院

はなみずき

病院理念

私たちは安全で良質な医療、心のこもった看護・介護、地域社会との連携を目指します。





来たる!夏へ向けて



寒暖差が激しかった今年の初夏。5/17に回復期病棟では、あさがおの種まきを患者様と一緒に行いました。このあさがおは毎年、リハビリ室へ入る夏の日差しを遮る目的や成長する植物から元気を分けてもらう目的で育てているもので、その年できた種を翌年にまいています。患者様と一緒に種まきをしたのは約4年ぶりでした。前日に種まきの告知をするとみなさんとても楽しみにされており、当日は多くの患者様に参加して頂きました。みなさん生き生きとして、「もっと種ないの?」と積極的に参加されており、患者様同士で交流を深めることができました。コロナ禍では見ることでない光景で、少しずつコロナ前の日常を取り戻しつつあると実感した出来事でした。



2階のテラスには、このプランターの他に新たに3つプランターが増えました。新プランターは、車椅子の方でもかがむことなく手入れが可能であり、より患者さまの目線で花を観察することができます。現在はコリウスやペチュニアを育てておりますが、夏に向けてミニトマトなどの夏野菜も育てていく予定です。どんな風に育っていくのか、今から楽しみです♪

(文/リハビリテーション科・石黒直人)



恒例 春のお花見ツアー復活!!



2階病棟ではコロナ禍前まで、リハビリテーションの一環として、お花見や買い物ツアーなどの企画を定例化して実施しておりました。今回の開催は4年ぶり、私自身も2階師長に配属されて初めてということもあり、安全面を第一に考えて臨みました。

安全に実施できたことはもちろんですが、春の優しくて美しい公園の景色を見ながら、患者さんも職員も皆病棟では見ることでないような明るい笑顔であふれていました。

患者さんの退院後を見据え、社会で生活することに向けた支援を今後も2階スタッフで一丸となって提供していきたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。



(文/看護師・水村)



新型コロナウイルス感染症第8波が終息し、3月13日からはマスクの着用が個人の判断となりました。コロナとの付き合い方が変化中、回復期病棟では「いつまでもコロナに負けてられない!」と4年ぶりにお花見ツアーに行ってきました。3月29日(水)の午前中、参加者は患者様11名、職員15名。職員用の送迎バスに乗って20分ほどのところにある彩の森入間公園に向かいました。ここ数日は肌寒い日が続いていましたが、晴れ間が広がり、暖かく気持ちのよい天候の中、満開の桜を見ながら散歩することができました。

お花見ツアーの一番の目的は満開の桜を見て患者様に喜んで頂くことです。リハビリ専門職としては退院後の生活動作を確認する貴重な機会でもあります。20cm以上の段差を上ってバスに乗り込む動作、舗装されていない道やガタガタ道、長く続く傾斜道の移動、病院とは違い椅子やトイレがすぐでない環境での屋外歩行。これらの動作を通して見つかった課題をリハビリで取り組んでいくことになります。

▼ 帰院後の患者様とのやり取りです。

療法士:「早速課題に取り掛かりましょう!!」

患者様:「今日は十分やりました!明日から頑張ります!!」……。

何はともあれ、患者様の喜ばれる様子を拝見し、開催してよかったと感じることができました♪

(文/リハビリテーション科・長島秀幸)



災害に強い病院にするために

所沢ロイヤル病院が現在の場所へ移転してから21年余り経過し様々な設備の更新を適宜実施しております。先日はコージェネレーションシステムといわれる自家発電設備を更新いたしました。これは都市ガスを利用し電気をつくり、発電時に排出される熱を回収して、給湯に利用することもできるもので当院の非常時の主力発電設備です。

この設備のおかげで災害などの緊急事態に遭遇し大規模な停電が発生した場合においても病院の損害を最小限にとどめつつ、事業の継続や早期復旧が可能となります。

近年大型台風の上陸により鉄塔や電柱が倒壊し、復旧まで長時間の停電が発生したなどのニュースを耳にするようになりました。

今回の更新の際、より災害に強い病院にするため、コージェネを1台から4台に増設し、故障時のリスクを軽減させたほか、このコージェネにつながっている重要な医療機器やナースコール、給排水設備、空調設備、電話回線などを継続利用できるように設備の見直しや更新を行いました。

今後も引き続き患者様ご家族様はもちろん、全ての当院をご利用される方が安全・安心を感じられる施設づくりに努めてまいります。



(文/総務課・澤田)